

シグマ研究委員会
ドシメトリー積分テストWG 議事概要

1. 日 時： 平成3年5月2日(木) 13:30~17:00
2. 場 所： 原研本部 第3会議室
3. 出席者： 中沢、井口(東大工)、岩崎(東北大工)、小林(京大炉)、池田、中川(原研)
4. 配布資料：
 - DS-55 前回シグマ研究委員会ドシメトリー積分テストWG 議事概要(井口)
 - DS-57 報告書 1. 序論 草稿案(中沢)
 - DS-58 報告書 3.2 草稿案改訂版(小林)
 - DS-59 報告書 3.3 草稿案(井口)
 - DS-60 報告書 4. 結論 草稿案(中沢)
 - DS-61 報告書 3.5 草稿案改訂版(岩崎)
 - DS-62 報告書 3.7.2 草稿案改訂版(岩崎)

5. 議事

(1) 前回議事録等の確認

前回議事録が読み上げられ、 ^{103}Rh 及び ^{109}Ag の記述について、 $^{103}\text{Rh}(n, 2n)$ 及び $^{109}\text{Ag}(n, n')$ 、 (n, γ) と書き添えることとした。また、 $^{115}\text{In}(n, \gamma)$ 反応は、山室先生の評価データではなくて、F.P. 評価値が採用されたことが付加された。

(2) 連絡事項/経過報告

中沢委員長より、JENDL-3が本年4月の時点でリリースされたこと、本WGの継続が運営委で認められたが、菊池委員より「問題点の抽出だけでは不十分で、ファイルの維持向上の努力を期待する」とのコメントがあったこと等が報告された。

中川委員より、JENDLドシメトリーファイルにつき、 $^{49}\text{Ti}(n, p)^{49}\text{Sc} \rightarrow ^{49}\text{Ti}(n, np)$ の入れ替えは済んだが、コメントファイルの編集は未完了との報告があった。

(3) 報告書原稿のチェック

各自担当者の報告書草稿改訂版をもとに、主として修正箇所の概要説明がなされた。これに対し、各委員より誤植の指摘やコメントが与えられた。また、総合評価の内容をチェックし、一部修正がなされた。特に、高エネルギー側しきい反応の総合評価については、岩崎、池田両委員により最終判断をお願いすることとした。

以上の修正版及び図・表のきれいなものを用意し、5/11(土)までに中川委員宛に送付することとした。この他、自己遮蔽補正用に pointwise data もファイルに収納することや次回WGを本報告書原稿の著者校正時(6月中旬)を目途に開催すること等を取り決めた。

以 上